

「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」プロジェクト
「学生海外派遣」プログラム
学生海外調査研究 計画調書 (平成 23 年度)

ふりがな 名前		印	所属	人間文化創成科学研究科	専攻
博士後期課程入(進) 学年度		年度	主たる指導教員		
現住所	〒				
携帯電話番号(ない場合は必ず連絡が取れる番号)					
電子メールアドレス (事務担当からはここに送信する)			g @edu. cc. ocha. ac. jp		

(1) 海外調査研究計画

I 海外調査研究課題
II 海外調査研究の場所・時期 (期間も含める) ・内容・理由 (どこに行つて、何をするのか、日本国内の調査では不可能な理由などを含め、実施内容や資料名などを、「場所」「時間 (期間も含める)」、「内容」「理由」に分けて、具体的に記入)

Ⅲ海外調査研究の目的と必然性

(①今回申請する海外調査研究の目的と必要性、②この調査研究で、何をどこまで明らかにしようとするか、③この海外調査に基づく研究の特色や独創的な点、意義)

Ⅳ従来の研究経過・研究成果又は準備状況 (従来の研究業績と関わらせながら、研究の準備状況を記入)

V研究業績（論文、学会発表などの主要な業績5点以内を、新しい業績から、箇条書きにして列挙）

(2) 海外調査研究経費

①総額、②費用別使用内訳（旅費、滞在費、資料収集・閲覧費）を、千円単位で記入。

申請総額は、25万円を上回ることはいけません。

平成22年度	申請総額	千円
(内訳)		具体的に
旅費（渡航費、移動費）	千円（	）
滞在費（ホテル代のみ）	千円（	）
資料収集・閲覧費等	千円（	）

※上記すべてについて帰国後、2週間以内に領収書の提示が求められ、適切な経費と判断されるもののみ支給される。

(3) 指導教員あるいはそれに代わる教員の推薦

①学生の研究計画に基づき、必要な海外研究調査であること、②海外研究調査を有意義なものにする優秀な学生であることなどについて、記入してください。

指導者名

経歴調書

	学 歴
年 月	高等学校卒業
	研究歴・職歴（研究目的の海外渡航のために学内外の補助金を受けたことがある場合は、それについても必ず記入）
年 月	
	以上、相違ありません 名前 印